

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	ご家族様も高齢になり、面会に来られる頻度が少なくなってきているため、意見を聞くことが難しくなっている。	ご家族様が職員に対し、気兼ねすることなく意見を伝えることができる環境をつくる。	各入居者様の担当が、月に一度、ご家族様へお便り、または電話で状態報告をし、意見を聞く。	12か月
2	36	職員が転倒等の事故防止を意識し過ぎて、本人がまだ一人でもできる事に対し、介助に入ってしまうことが多く見られる。	できる範囲で、生き生きとした生活、残存機能を活用した生活を送ることができる。	すぐに介助につなげるのではなく、見守りに注意する。	6か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。